

藤岡市新火葬場基本設計

基本設計図書

【目次】

| | |
|------------|------|
| ◇基本方針・敷地概要 | ・・・1 |
| ◇計画概要・配置計画 | ・・・2 |
| ◇平面計画 | ・・・3 |
| ◇立面計画1 | ・・・4 |
| ◇立面計画2 | ・・・5 |
| ◇断面計画 | ・・・6 |
| ◇外構計画 | ・・・7 |

令和4年6月
藤岡市

◇基本方針

『藤岡市新火葬場建設基本構想』において示された以下4つの基本方針を踏まえて、基本設計をまとめました。

1. 将来の火葬需要に対応できる柔軟な施設づくり

想定される火葬件数の増加に対応できる設備の導入等、利用者のニーズに答えられる施設とします。

2. 立地特性や地域住民へ配慮した環境性能の優れた施設づくり

緩衝地帯を十分に残しつつ、景観との調和を目指します。
また、最新の技術を採用した火葬炉や排ガス等の有害物質を最小限に抑える設備を導入し、環境に優しく、周辺住民へ配慮した施設とします。

3. 遺族や会葬者にやさしい施設づくり

プライバシーの確保が可能な設備の配置やバリアフリー化など、全ての方が安心して利用できる施設とします。

4. 管理運営に適した施設づくり

良好な作業環境を確保し、また将来の修繕等を見越した余裕のある設備配置とし、職員及び葬儀業者等全ての方が利用しやすい施設とします。



◇敷地概要

■付近見取図



1/5,000

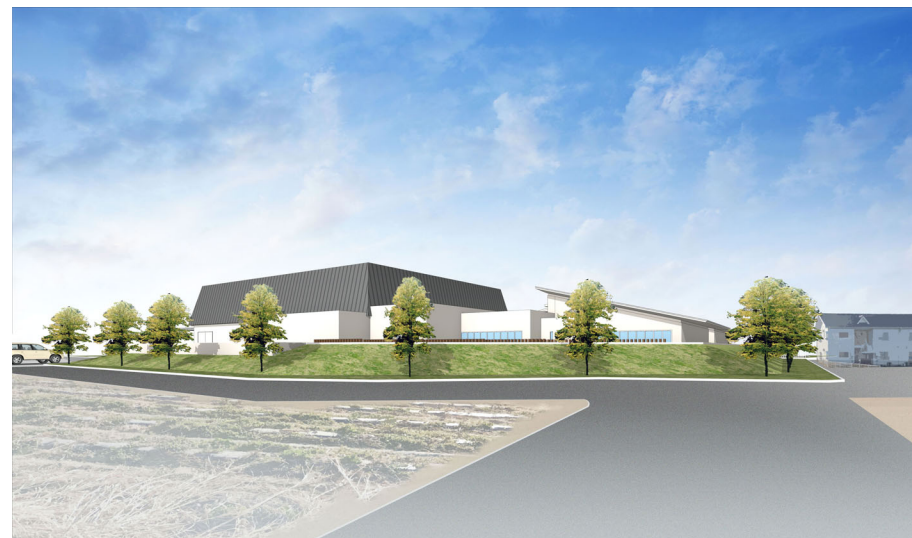
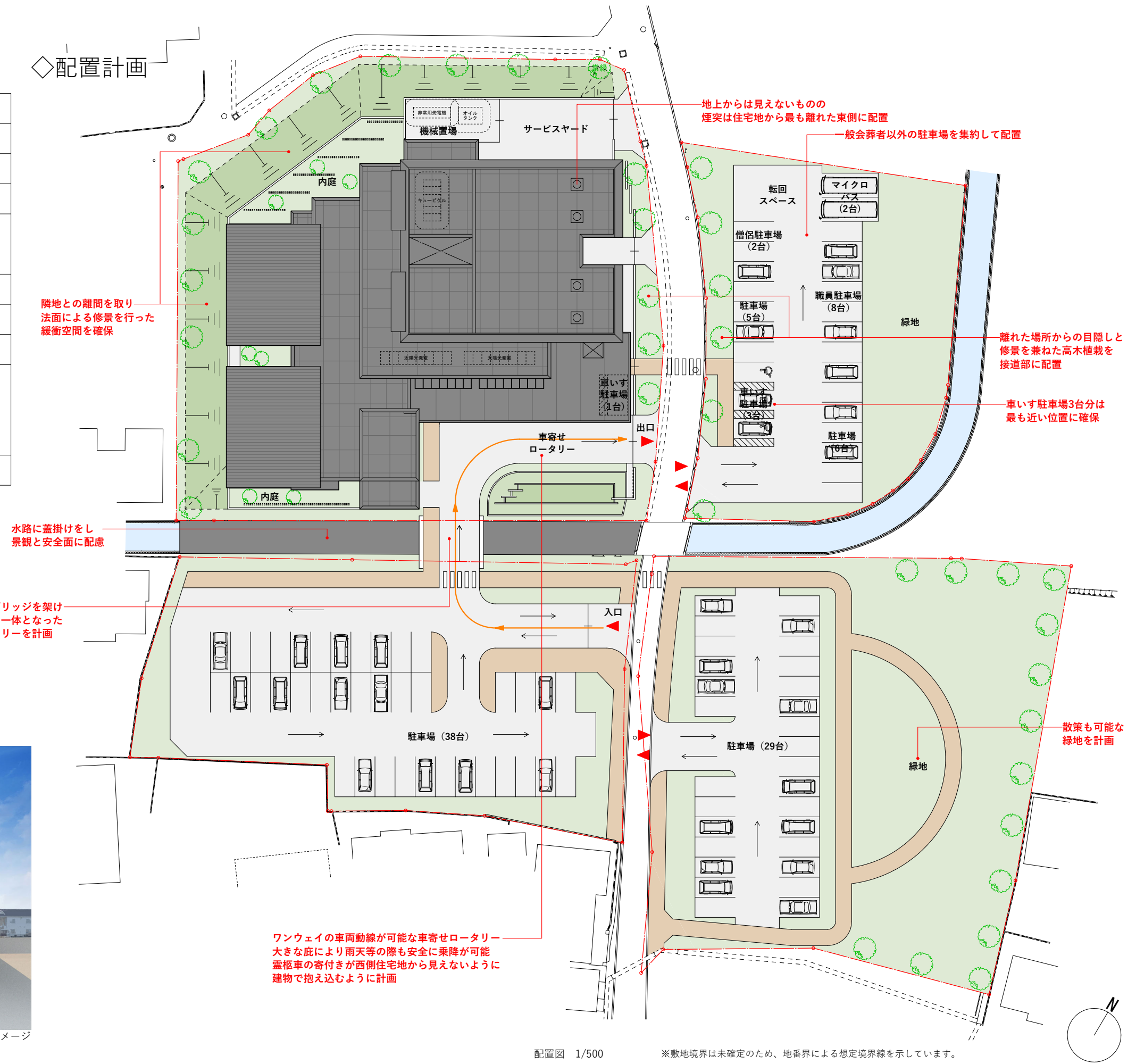
■敷地概要

| | A：新火葬場建設敷地 | B：現第2駐車場 | C：現第3駐車場 | D：現借同苑敷地 |
|----------------|-------------------------|--------------------------|-------------|----------------------|
| 住所 | 藤岡市中栗須145-2、149-1、149-2 | 藤岡市中栗須147、148、藤岡市藤岡775-7 | 藤岡市中栗須159-1 | 藤岡市藤岡770、藤岡市中栗須160-4 |
| 敷地面積 (公簿面積) | 3,233.00㎡ | 1,758.00㎡ | 1,333.00㎡ | 2,491.07㎡ |
| 用途地域 | 第一種住居地域 | | | 市街化調整区域 |
| 防火地域 | 法22条区域 | | | 指定なし |
| 指定建蔽率 | 60% | | | 70% |
| 指定容積率 | 200% (容積率低減係数0.4) | | | 200% (容積率低減係数0.6) |
| 高度地区 | 指定なし | | | 指定なし |
| 日影規制 | 5h-3h/4m | | | 指定なし |
| その他の地域地区 | 指定なし | | | 指定なし |
| 道路斜線制限 | 適用距離：20m 斜線勾配：1.25 | | | 適用距離：20m 斜線勾配：1.5 |
| 隣地斜線制限 | 20m + 1.25D | | | 31m + 2.5D |

◇計画概要

| | |
|--------|--|
| 主要用途 | 火葬場 |
| 構造／規模 | 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造／平屋 |
| 建築面積 | 1,573.22 m ² |
| 計画建蔽率 | 48.67 % |
| 法定延床面積 | 1,554.95 m ² 施設本体：1,379.73 m ² 車寄せ庇床面積算入部：175.22 m ² |
| 計画容積率 | 48.10 % |
| 最高高さ | 8.1 m |
| 火葬炉基数 | 4基 |
| 主要計画諸室 | <ul style="list-style-type: none"> 告別兼収骨室：2室(各30人程度利用) 待合室：2室(各30人程度利用) 多目的室：会葬者の更衣や少人数の待合室としても利用可能 |
| 駐車場 | 計94台 |

◇配置計画

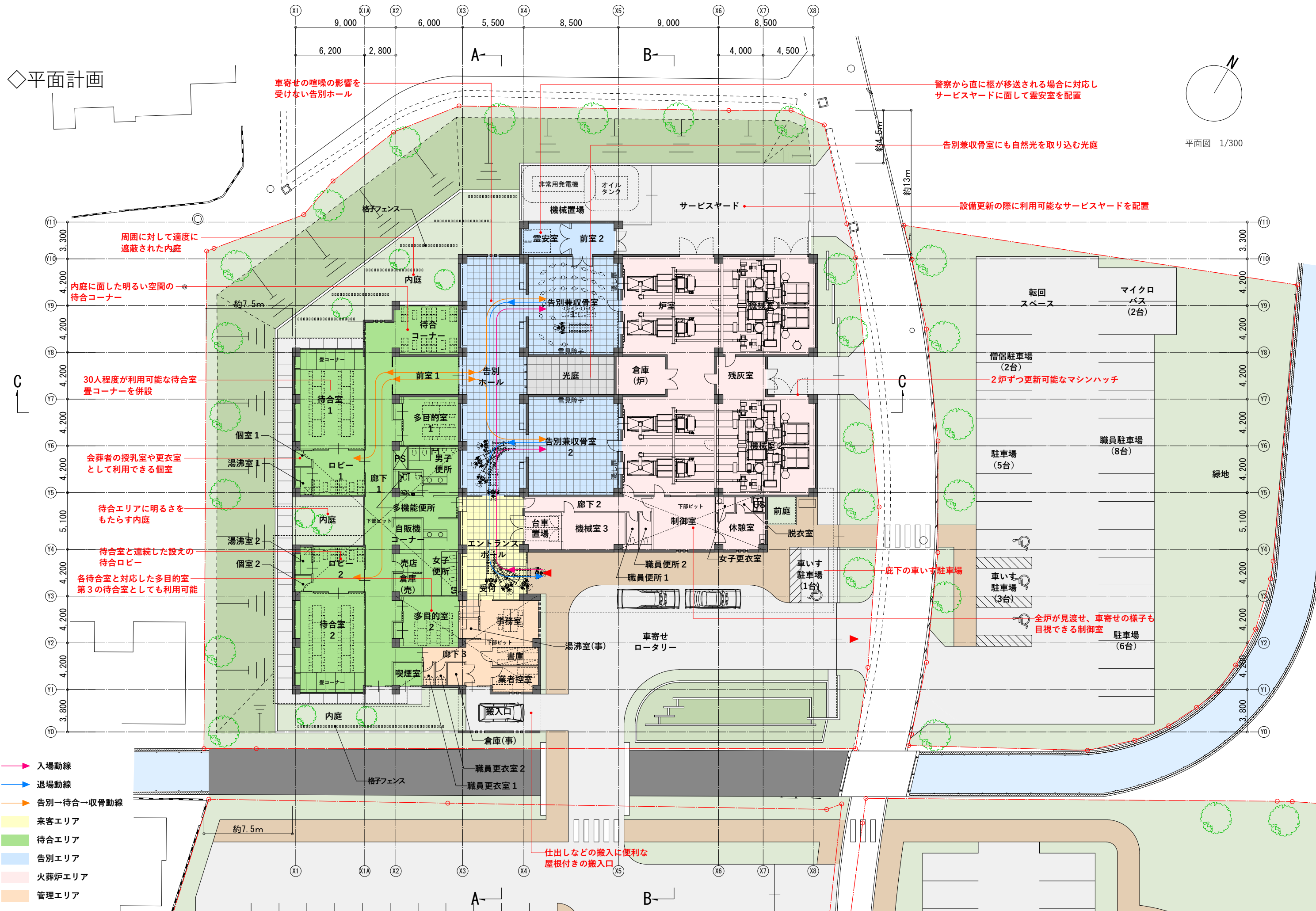


建物周囲の法面による修景イメージ

配置図 1/500

※敷地境界は未確定のため、地番界による想定境界線を示しています。

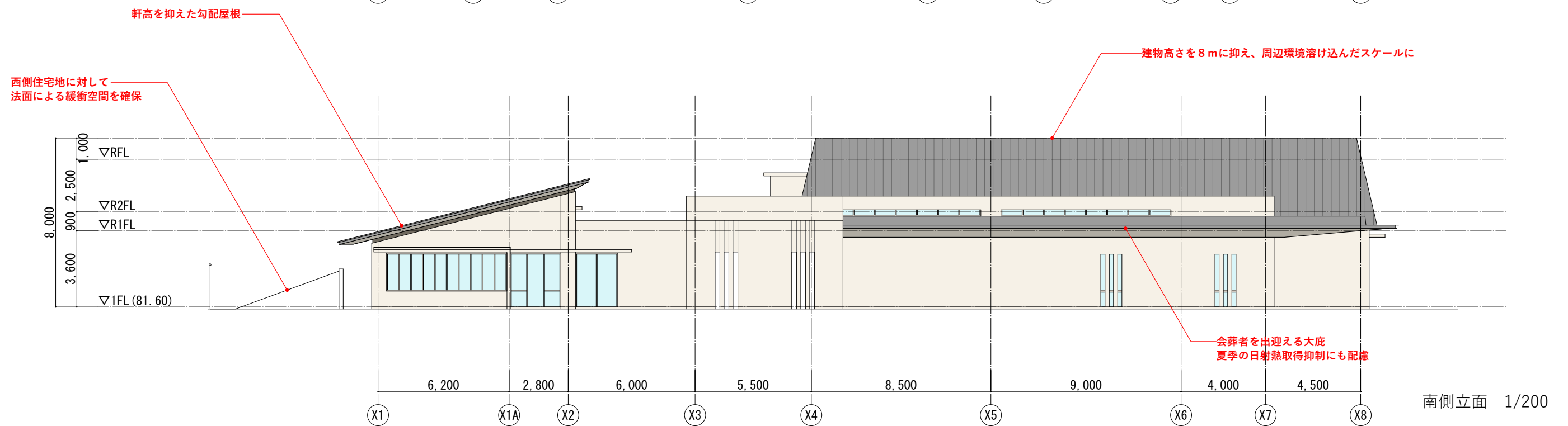
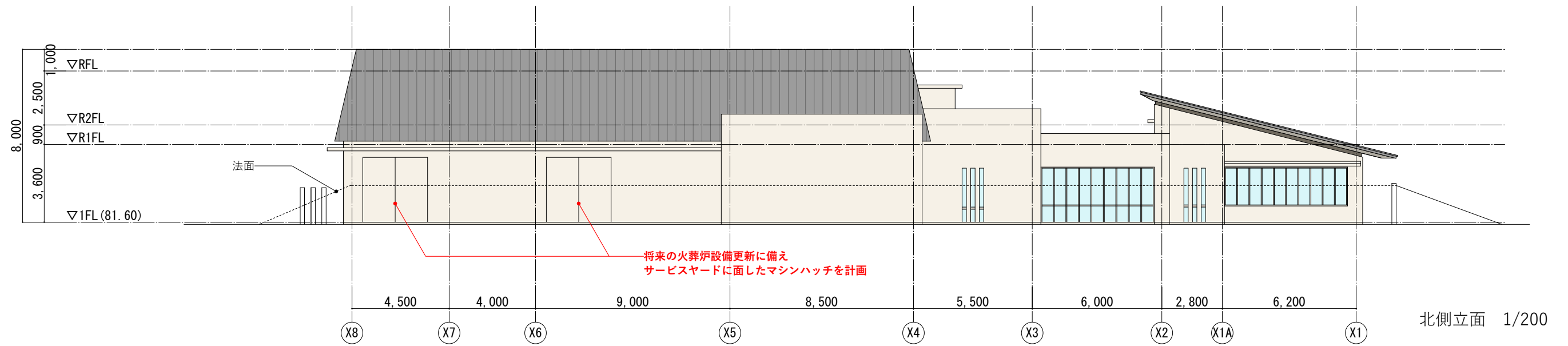
◇平面計画



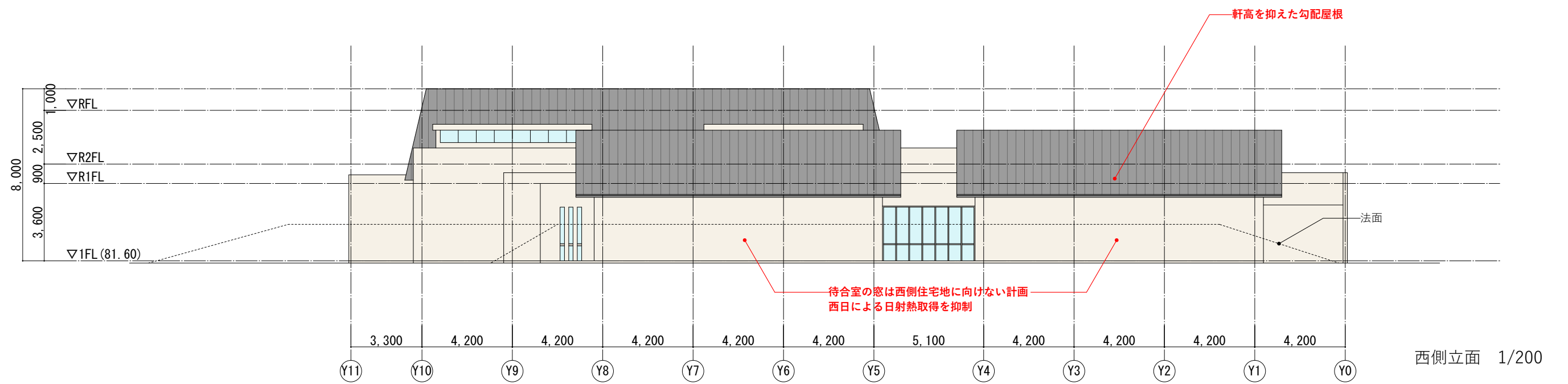
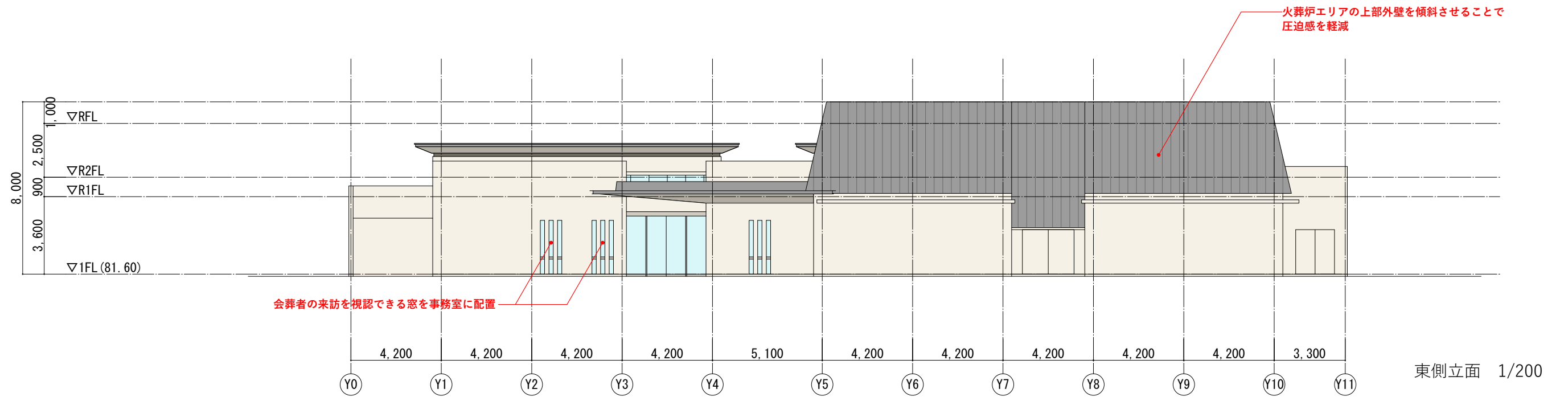
◇立面計画 1

周辺環境に溶け込み、静かに佇む

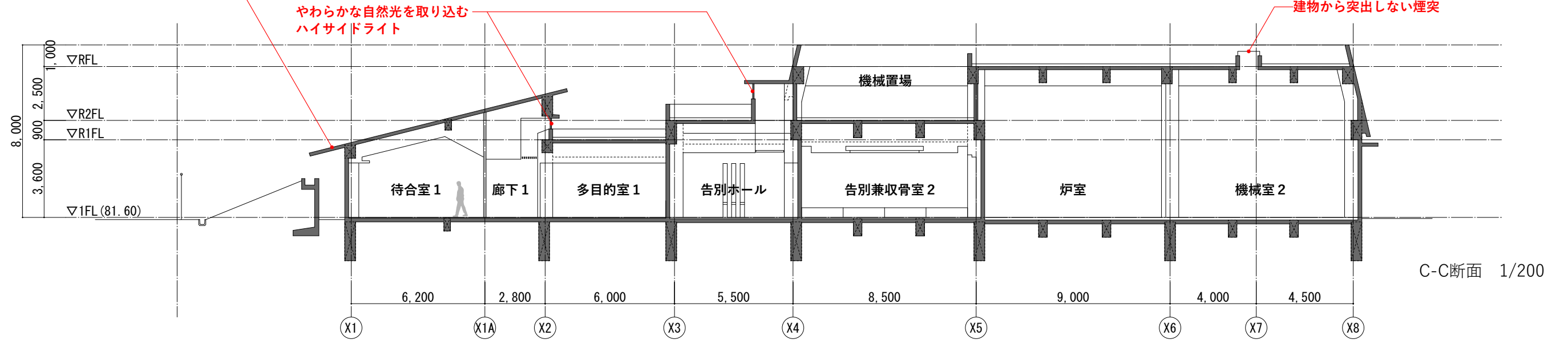
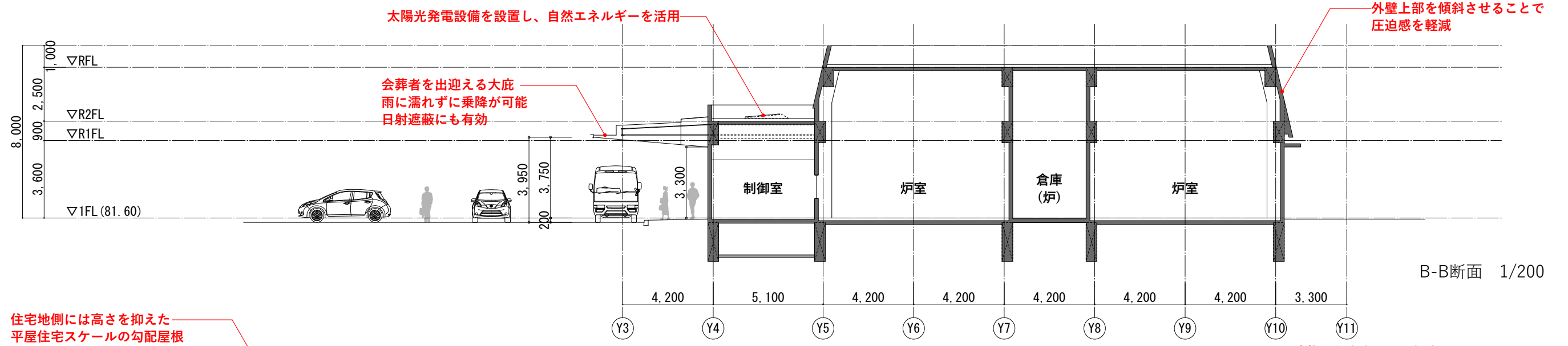
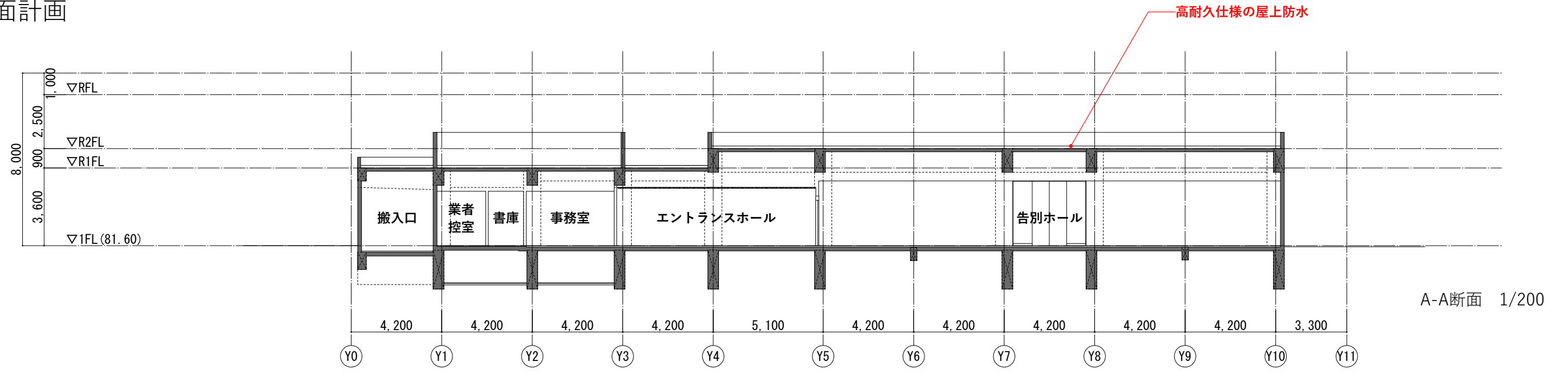
- ・火葬炉エリアの建物高さを8 mに抑え、さらに上部外壁を傾斜させることで圧迫感を軽減します。
- ・西側(住宅地側)は、平屋住宅と同程度の軒高に抑えた勾配屋根とします。
- ・周囲に対して開きすぎず、一方で閉鎖的とならないバランスを大切にしたい計画とします。



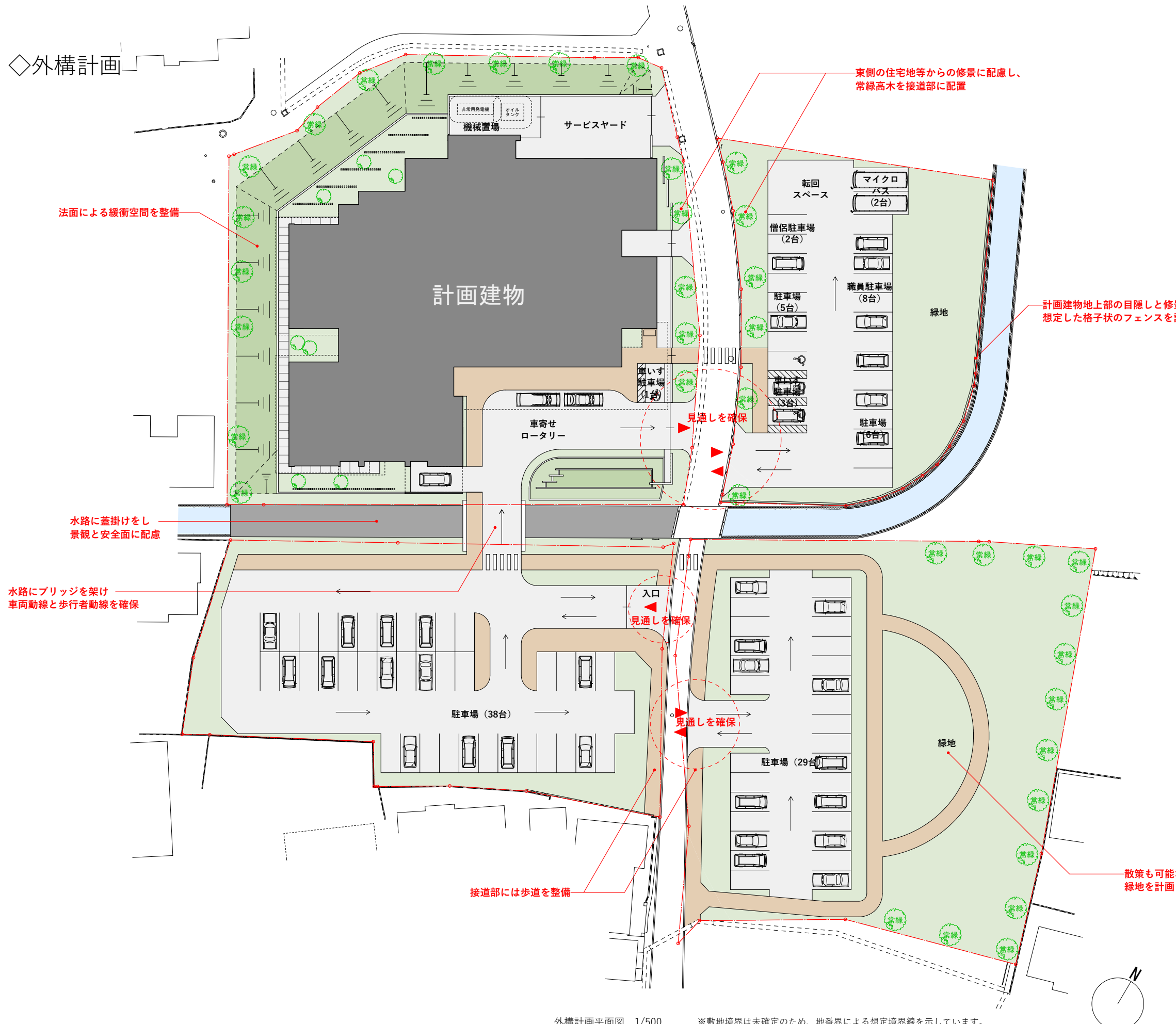
◇立面計画 2



◇断面計画



◇外構計画



■外構計画基本方針

- ・ 景観に配慮し、修景や目隠しを適切に配置した計画とします。
- ・ 法面等の造成には計画建物の根切土を利用し、建設発生残土の抑制に努めます。

■舗装計画

- ・ 「群馬県人にやさしい福祉のまちづくり条例」を遵守し、高齢者や障害者も使いやすい構内舗装整備とします。
- ・ 構内の主要な舗装はアスファルト舗装とし、通行車両に対応した路盤仕様とします。
- ・ 南側駐車場敷地接道部や駐車場内には歩道を整備し、歩行者の安全性に配慮した計画とします。
- ・ 雨水流出抑制に配慮し、透水性の舗装仕様を検討します。

- アスファルト舗装
- インターロッキングブロック舗装

■植栽計画

- ・ 計画建物の修景及び目隠しを想定し、新火葬場建設敷地外周部と接道部に常緑高木を配置します。
- ・ 住宅地のある北側～西側には緩衝空間として、芝貼りによる法面を整備し、計画建物を修景します。
- ・ 低木、地被類、芝といった植栽を効果的に配置し、視覚的にも安らぎを感じられる計画とします。
- ・ 駐車場出入口の周囲は見通しを確保し、交通安全に配慮した計画とします。

- 低木・地被類・芝
- 法面(芝)

外構計画平面図 1/500

※敷地境界は未確定のため、地番界による想定境界線を示しています。